

会 議 録

1 会議名

平成26年度第4回上越市地域公共交通活性化協議会

2 議題

1) 報告事項

報告第1号 浦川原区における少量輸送システム試験運行に係る評価検証業務の報告について

2) 協議事項

議案第1号 自家用有償旅客運送の更新登録の申請について

議案第2号 (仮称) 次期総合公共交通計画について

3 開催日時

平成26年8月11日(月) 午後1時30分から

4 開催場所

上越文化会館 4階 大会議室

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

なし

7 出席した人(傍聴人を除く。)の氏名(敬称略)

委員： 川上宏、塚本大輔(代理：川上勝憲)、大谷一人、佐藤章、鳥越元一、唐澤紀雄、板垣島美子、鹿住正春、早川博、常山哲(代理：歌川実)、岩井文弘、横田智、宮崎朋子、白砂千佳、北嶋宏海、小口幹久

事務局： 布施徹副課長、池田雄一係長、清水信寿主任、武藤敏寛主事(新幹線・交通政策課)

8 発言の内容

1 開会 (事務局)

定刻になりましたので、ただ今から、平成26年度第4回上越市地域公共交通活性化協議会を開催いたします。

本日は、お忙しい中、皆さまからお集まりいただき誠にありがとうございます。

(事務局)

本日は、報告事項1件、協議事項2件あります。

本日の委員の出欠は、お手元に配布させていただきました委員名簿にてご報告に代えさせていただきます。

続いて、資料の確認をお願いします。

あらかじめ皆さまに送付しました資料が、「議案書」及び「資料2」です。本日配布しました資料が「資料1」、「資料3」、「資料3-1、3-2、3-3、3-4」です。

また、新幹線まちづくり推進上越広域連携会議が作成したニュースレター8月号、えちごトキめき鉄道様が8月8日より募集を開始したサポーターズクラブのサポーター募集チラシ、頸城自動車様が実施されておりますバス乗車体験キャンペーンチラシ、それから「ガイドとバスで巡る ぶらっと港まち直江津号」周知チラシをお配りいたしました。

よろしいでしょうか。

2 会長挨拶 (事務局)

それでは、議案書3ページの次第に従いまして会議を進行します。始めに、川上会長から挨拶をお願いします。

(川上会長)

たいへんお疲れ様でございます。お忙しい中、当協議会にご出席いただき誠にありがとうございます。また、皆さまには日頃から、公共交通の維持、確保、活性化にご尽力いただきありがとうございます。改めて感謝を申し上げます。

北陸新幹線の開業まで残り7か月余りになりました。先週5日には、新型車両W7系による試験走行が始まり、市民の皆さんや関係団体の皆さんにご尽力いただきながら、歓迎セレモニーを約700名の皆さんのご参加を得て無事に開催することができました。

開業の期待が高まり、開業に向けてさらに関係団体の皆さまと一丸となって取組を進めて行かなければいけないと感じたところです。

また、信越本線の脇野田駅は、10月19日の移設開業に向けて工

事を順調に進めております。10月19日には、式典あるいはイベント等を地域の皆さん、関係団体の皆さんと一緒に開催していきたいと考えています。皆さまには、改めてご案内、ご協力等をお願いいたします。

そして、バスについてですが、浦川原区におけますデマンド型の乗合輸送バスを6月まで試験運行させていただきまして、7月から東頸バスさんへ事業を引き継ぎ順調に運行しているところで、地域の生活交通がきちんと確保されていると考えております。

本日の協議会は、報告事項1件、協議事項が2件ございますが、浦川原区の試験運行の総括の報告、そして、有償の旅客運送の登録の申請についてということと合わせまして、次期の総合公共交通計画について皆さま方からご審議いただきたいと考えております。

いずれも地域にとって重要な案件ですし、また北陸新幹線開業に向けた交通についても皆さま方から忌憚のないご意見を頂戴したいと思っております。

よろしく願いいたします。

(事務局)

ありがとうございました。

続きまして、次第「3 報告事項」に移らせていただきます。

ここからは、会則第8条第1項の規定によりまして、川上会長から議長を務めていただきます。

よろしく願いいたします。

(川上会長)

それでは、しばらくの間議長を務めさせていただきます。よろしく願いいたします。

まず、委員の出席状況ですが、委員20名のところ、本日の出席は代理を含め16名です。会則に規定する過半数を超えており、本会議は成立していることをご報告いたします。

3 報告事項
(川上会長)

それでは、報告第1号「浦川原区における少量輸送システム試験運行に係る評価検証業務の報告について」、事務局より説明をお願いします。

(事務局)

(議案書4ページ、資料1により説明)

(受託事業者)

評価検証業務受託事業者：株式会社 エム・コミュニケーション
(資料1を説明)

- (川上会長) ありがとうございます。
 それでは、報告第1号について、ご質問ご意見等はございますでしょうか。
- (岩井委員) 聞き込み調査を行っていただいておりますが、利用者への聞き込み調査と施設利用者への聞き込み調査、これはほとんど数字が一致するのでしょうか。
 利用者につきましては、施設やスーパー、病院へ行く人がほとんどでしょうか。
- (事務局) 利用者への聞き込み調査は、試験運行の少量輸送を使った利用者へ聞き込み調査を行っております。通常の路線バスですと誰が使ったか分かりませんが、予約に応じて運行していますのでこちらで利用者が把握できますので、その方に直接聞き込み調査を行いました。
 一方、施設でのアンケート調査は、その施設でそこにいらっしゃったお客様にお聞きしておきまして、予約してバスを使った方もいらっしゃいましたし、自家用車で来られた方もいらっしゃいました。そういった方々から意見を聞いた調査でございます。
 中にはかぶっている方もいらっしゃるかもしれませんが、多くが別々の対象として来られています。
- (岩井委員) 施設利用者が、少量輸送システムを利用しているのがほとんどではないかという感覚を私は持つのですが、多いとか少ないとかそのところはどうか。
 かぶっているところが大部分ではないかと思って、とらえていたんですが。
- (事務局) 資料1の63ページに、施設利用者への聞き込み調査を記載しております。70名にお聞きし、その内12名が少量輸送システムを利用したことがあると回答いただいております。残りの58名の方が少量輸送、乗合バスの利用経験無しという回答結果になりました。また、63ページの一番下の円グラフですが、その施設利用者70名の内、利用経験が無い人に日常の交通手段を聞いた結果です。
- (岩井委員) 数字としてはっきり出せないということですね。
 かぶっているところが何パーセントか、そういうような数字の出し方はできないということですね。
- (事務局) かぶっているというのは、施設にお越しいただいた人の内、どれく

らいの人が試験運行のバスを使ったかどうかということですか。

そういう意味ですと、70名に聞いたところ、利用経験があったという人が12名というところではかとらえておりませんので、調査報告書からは実際その時にバスを利用してきたかどうかという事は分かりません。

(岩井委員)

ありがとうございました。

施設を利用する方が少量輸送システムを利用することが多くなると思います。報告にありましたように、施設利用者にPRしていくことが大切かなと考えております。

(川上会長)

ありがとうございました。そのようなご意見を参考にさせていただきたいと思います。

他にいかがでしょうか。

(大谷委員)

利用者数ですが、今回は100%予約による利用と理解してよろしいでしょうか。

(事務局)

試験運行を行う前までは、バスを定時定路線で動かしておりました。今回は予約に応じた運行でございますが、一部朝の1便のみ定時定路線で動かしております。横住線と記載している便が該当し、朝7時に出発しまして、7時半頃に中心部に来る路線を通勤用に定時定路線として残しました。

(大谷委員)

利用して何名というのは、延べ人数になりますよね。ですから実際に何人の方が利用したかということは、この調査は30名と出ていますけど、だいたいどれくらいでしたでしょうか。

(事務局)

聞き込み調査を準備する際に運行を受託した東頸バス様に利用者一覧をいただいた時には65名くらいでしたので、それくらいの方が何回か使っていただいていると考えております。

(川上会長)

他にいかがでしょうか。

(川上会長)

今ほど報告の中で、具体的な提案がいくつかあったかと思います。

低床車両だとか、予約の負担感を解消するのに曜日を決めて利用の見込めるものは定時定路線の方が良いのではないとか、電車バスの接続等の報告があったのですが、これは今後、地域の懇話会や東頸バスさんとも協議して運行時刻の見直しですとか、サービスの見直し等

を検討して行くのかどうか、今の考えを教えてください。

(事務局)

現在も引き続き、浦川原総合事務所の担当者も含めて見直しを考えています。学生の利用がまったくみられないこともありますので、小学生、中学生の通学的手段としてこのバスを使えないかといった点を検討したいと考えています。

ノンステップのバスではないということについては、東頸バス様も課題意識を持っておられます。実際の車両は乗降口の高さが非常に高い車両です。こちらは東頸バス様も苦慮されているところです。過去に乗降台を運転手が用意して置くようにしていたのですが、運転席を離れて置くので、傾斜地が多い地区ですから、保安上良くないということで、こちらについては課題意識を持っていますが良い策が見つからないところです。私たちも試験運行前の乗降調査を行っている時に実際の乗降の場面を見ていますが、高齢者が這い上がるようにバスへ乗降しています。一方で雪が多い地域で低床バスを走らせることができず良い解決策が見つからないところです。

また、予約の負担感につきましても、懇話会等でこの課題については、地域の懇話会と課題を共有させていただいております。空バスが走らなくなったということに評価をいただいておりますが、予約の負担感でマイナスの方向があるとの意見もいただいております。引き続き地域の懇話会や住民の意見を聞きながら見直したいと思っております。

今回、この試験運行を通して住民を巻き込んでいろんな見直しができたことが良い経験と言いますか、私たちにとっても住民にとっても、いい足がかりになったのかなと感じております。この流れを崩さないような形で引き続き意見交換を実施していければと考えております。

(川上会長)

ありがとうございました。

せっかくですので、そのように進めたいと思いますし、車両の方は高価なもので予算に関係することもあります。乗降に合わせてステップが解消するような車両もあったかと思っておりますので、事業者の皆さんと意見交換していただきたいと思っております。

他によろしいでしょうか。

(川上会長)

無ければ、報告第1号については、原案のとおり了承することによろしいでしょうか。

(委員から異議なしの声)

(川上会長)

ありがとうございました。

それでは、報告第1号につきましては、原案のとおり承認されました。

4 協議事項
(川上会長)

続きまして、次第の「4 協議事項」に移らせていただきます。

議案書5ページ、議案第1号「自家用有償旅客運送の更新登録の申請について」事務局から説明をお願いします。

(事務局)

(議案書5ページ、資料2により説明)

(川上会長)

ありがとうございました。

今ほどの件について、ご質問ご意見等はございますでしょうか。

(川上会長)

更新ということで引き続き見直しを検討していくということです。
原案のとおり承認することよろしいでしょうか。

(委員から異議なしの声)

(川上会長)

ありがとうございました。

それでは、議案第1号につきましては、原案のとおり承認されました。

(川上会長)

それでは続きまして、議案第2号「(仮称)次期総合公共交通計画について」事務局より説明をお願いします。

(事務局)

(議案書6ページ、資料3、資料3-1から資料3-4により説明)

(川上会長)

ありがとうございました。

公共交通計画の策定についての概要ということで、事務局からスケジュールを含めて説明がありましたが、現段階でのご質問、あるいはご意見をいただければと思います。

(北嶋委員)

最初に、まず今日の協議会の議案書の策定趣旨の意味がよく分からないのですが、「平成26年度末で投資・・・」この投資というのは上越市のことですか。

次に、移動手段それから利便性に対して評価検証等のアンケートを実施されると説明がありましたが、しかも6,000人位の方に実施されるということですが、回収率を考えた時に果たして大丈夫なのかということです。

もう一つはアンケートのボリュームが多いことです。高齢者の方がお答えすることが難しいこともありますので、工夫された方が良いと思います。

最後に、計画期間を5年と予定されているとのことですが、これは国の法律上の何かしらの制約があるものですか。前は10年間の計画でしたが今回は5年ということでその辺は大丈夫ですか。

(事務局)

「投資」は当市のことです。

アンケートについては、ご指摘のとおり内容がとても細かくなっています。開いただけで拒否反応を示しアンケートに回答しなくなってしまうということもあると認識しておりますので、なるべくアンケート内容を簡単にして項目も少なく、また行間を少し開けるなど、分かりやすい、見やすい表現に工夫することを念頭に作成しています。当初、A3用紙1枚を二つに折り、両面見開きのような形を考えていましたが、情報量が多く見にくいので文字を大きくしA3用紙二つ折りにA4用紙1枚を挟み込むようにアンケートを検討しています。

回収率は、今までの総合交通計画やバス交通ネットワーク計画でアンケートを実施しており、概ね50%でした。市の総合計画の策定においても事前にアンケートを実施しておりまして、それも概ね50%程度、配枚数は約5,000件としていました。これらを参考に、回収率は50%くらいと見込み配布数を6,000枚としました。

計画の5年間については、特段何年間というような区切りはないのですが、地域の実情を反映させていく、地域の変化を見極めるには5年が良いと考えております。これは予定ですので、皆さんからご意見があれば反映させたいと考えます。

(川上会長)

よろしいでしょうか。
他にいかがでしょうか。

(宮崎委員)

アンケートに関して私も同じ意見です。都市計画で回収した時に、100か200しか返ってこなかったもので、それをアンケート集計ですと言われてもどうかなと思います。3,000件くらい返ってくるということで、集計していただければいいかなと思います。

アンケートを作っていた時に、計画期間が5年間ということなので、5年後というか、アンケートを回答する側の人々が現状について意見することも大切ですが、5年後や長い目で見て「あなたは乗りますか、乗りませんか」ということも含めて、そういう項目を入れていただきたいと思います。

なぜかという、公共交通といっても8割9割が生活に関しての部

分を聞いていくことで、バスが中心になると考えると、今乗らない方々が、3年や5年経って高齢になってすぐ乗るかとなるとたぶんそうではないと思うので、未来的な部分も調査していただけたらと思っています。

それとマスタープランでもさまざまな意見が出るのですが、上越市は雪が多いので、そういう意味で二次交通をどう利用していくか、例えば春、夏にアンケートを行う時と、冬では全く違ってくると思うので、こちらの気候に合った意見の聞き方、生活パターンを含めた調査が必要ではないかと思います。

ほかに私の意見ですが、5年や10年が経過すると、スクールバスも子供が少なくなってくるのは必至ですし、高齢者も多くなってきます。高齢者が多くなった時にバスに乗るかというのも、それでタクシーにするかというところも非常に難しいです。医療機関に行く機会が多いのにそこと連携ができていない、企業や施設、医療機関と、これを本気で取り組むのであれば、調整を図っていくことも必要であると思います。

皆さんの意見や市民の意見を取り入れたところで精査して、5年ということであれば、新しい取組がないと、町の様子は変わっていくので、そのようにお願いしたいと思います。

(事務局)

貴重な意見ありがとうございます。

アンケートについて、たたき台レベルのものがあるので、今日お配りしてご意見をいただければ良かったと反省しています。どのようなアンケートにするか検討していることを説明させていただきます。

大きく3つに分けています。「いま交通手段として何を利用しているか」、「公共交通に対して、いま満足しているか」、「将来、公共交通を使うとしたら、どのように改善すると利用するか」です。

通勤、買い物、通院先はどこか。それに対して交通手段は何を利用しているかをお聞きしたいと考えています。

雪についてご指摘がありましたけれども、雪がある時とない時で移動手段は変わるのか、変わるのであれば、雪が降ったら買い物、通院、通勤通学にはどのような交通手段を利用するかをお聞きしたいと考えています。

また、公共交通に満足しているかということも項目を設け、電車とバスの2つに分けて調査しようと考えています。例えば、停留所が近くにあるか、運行本数が適切か、最終バスが遅くまであるか、適切な運賃であるかなどを電車とバスに分けて調査します。

最後に、将来的にどのように見直せば良いかということで、例えば駅に駐車場を設けたら良いか、運行本数を増やしたら良いか、運行時

間帯を見直したら良いかなど、どのようにすると利用いただけるかを調査する項目を設けております。

設問項目は全部で11問を予定していますが、お配りし見ていただいた方がよろしいでしょうか。

(宮崎委員) 無作為抽出というお話がありましたけれども、6,000件を13区で割るということですか。

(事務局) 6,000を合併前上越と13区を人口割りにして、人数を割り振り、アンケートの中に「今どこに住んでいますか」というところに○付けてもらう形なので、どこの病院へ通っていることがわかるように集計します。

(宮崎委員) 区によって利用の仕方や特色が大きく違うと思うのですが、それは大枠を作っていて最終的にある程度の都市計画とかに合わせた部分で、ここはこんなふうにしていく、予測、推計も含めて、どのようにするかを検討していくということですか。

(事務局) 資料3、5ページ第5章第1節で、地区ごとにどのような運行形態にするかということを考えます。地区ごとの利用形態や移動の傾向をアンケートで把握しここに落としたいと考えています。

(川上会長) それでは、アンケートについては、素案をお帰りまでにお持ちいただいた方が良いでしょう。または、郵送でお送りして、新しいアイデアをいただけるものがあれば頂戴しますか。設問項目が増えると記入される方の負担になるだろうから、その辺は調整が必要になるかと思えます。大事なアンケートですのでよろしくお願いいたします。

(事務局) お帰りになるまでに用意します。

(川上会長) それでは他にご質問ご意見はございますでしょうか。

(川上会長) なければ、交通計画については、何回かご審議いただくこととなりますので、事務局で意見シートを用意していただいて、この場で発言が思いつかない部分があったり、言えなかった部分もあろうかと思えますので、後ほどご意見をいただきながら、計画策定を進めていくようにしていただきたいと思えます。

それでは、今日のところは概要とスケジュール感についてご説明をさせていただきましたが、他にご質問等なければ、この議案第2号に

つきましては、このように進めていくということによろしいでしょうか。

(委員から異議なしの声)

(川上会長)

ありがとうございました。

それでは議案第2号につきましては、今のとおりに進めさせていただきます。

(川上会長)

以上をもちまして予定した議題は全て終了いたします。せっかくの機会ですので、本日の議案やその他、ご意見ご質問等がございましたらお願いします。いかがでしょうか。

(川上会長)

無ければこれにて議長の任を解かせていただきます。

ご協力ありがとうございました。

5 その他

(事務局)

ありがとうございました。

会議の冒頭でお配りした資料ですが、「夏休み子供運賃50円バス乗車体験キャンペーン」を頸城自動車さんが実施し、活性化協議会が後援を行っております。昨年から頸城自動車さんが取り組んでおられる事業です。そして先週金曜日8月8日から募集が始まりました、トキてつサポーターズクラブ入会募集のパンフレットもご用意させていただきました。まだ始まったばかりですし、様々な特典もあろうかと思えます。

頸城自動車さん、トキめき鉄道さんから補足等があればお願いいたします。

(佐藤委員)

8日に募集を始めました。先ほど確認したら20名くらい集まったというところがございます。今日ご参集の委員の方をはじめ、ご家族、職場等々ぜひお声掛けいただいて、1人でも多くご加入いただきますようお願いいたします。これはトキめき鉄道の人気のバロメーターにもなりますので、ご支援をよろしくお願いいたします。

(事務局)

ありがとうございました。

全般を通して、皆さまからございますでしょうか。

(事務局)

アンケートはお送りさせていただきますので、ご指摘等をいただければと思います。また、交通計画をこれから策定していきますので、

意見シート等にご協力いただければと思います。

6 閉会
(事務局)

長時間にわたるご審議ありがとうございました。
以上をもちまして第4回目の協議会を閉会いたします。

以上

9 問合せ先

企画政策部 新幹線・交通政策課 交通政策係 TEL : 025-526-5111 (内線 1789)

E-mail : kotsu@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。